

【お知らせ：学生の健康管理状況および追加予防措置に関する週間アップデート - 3月1週目】

各位

平素よりお世話になっております、B'Cebu です。

校内で発生いたしました健康上の問題により、学生の皆様および保護者の皆様に多大なるご心配とご不安をおかけしておりますことを、深くお詫び申し上げます。

校内で2月上旬より報告されている消化器症状について、本校は医療機関と緊密に連携し、3月現在も継続的なモニタリングと対応を行っております。

本お知らせは、現在の管理状況および追加で実施している支援措置について共有するための週間アップデートです。

初期の事例が確認されて以降、本校では生活環境、飲料水管理、ならびに全体的な衛生状態に関する点検および予防措置を強化してまいりました。

現在も、医療専門家と連携しながら、確立された管理体制のもとで対応を継続しております。

---

■ 現在の状況および調査概要（2月 - 3月1週目の事例モニタリング）

以下の数値は、学生マネジメントチームおよび校内提携クリニックの資料に基づき集計された客観的データです。

[校内提携クリニック]

週別の1日平均対応件数および主な症状

■ 2月第1週（2月2日～6日） — 総学生数：560名

1日あたり約22.6件

消化器症状（腹痛、下痢、嘔吐など）

※数値は再診を含む診療件数ベースです。

---

■ 2月第2週（2月9日～13日） — 総学生数：533名

1日あたり約30.2件

消化器症状、発熱および呼吸器症状

※数値は再診を含む診療件数ベースです。

---

■ 2月第3週（2月16日～20日） — 総学生数：506名

1日あたり約19.2件

消化器症状および経過観察対応

※数値は再診を含む診療件数ベースです。

■ 2月第4週（2月23日～24日、26日～27日） — 総学生数：505名

1日あたり約20.2件

消化器症状および経過観察対応

※数値は再診を含む診療件数ベースです。

※2月25日はドクター往診は休診

■ 3月第1週（2月28日～3月6日） — 総学生数：461名

1日あたり約12.0件

消化器症状および経過観察対応

※数値は再診を含む診療件数ベースです。

週	期間	1日あたりの平均対応件数	主な症状
2月第1週	2月2～6日	約22.6件/日	消化器症状（腹痛、下痢、嘔吐など）
2月第2週	2月9～13日	約30.2件/日	消化器症状、発熱、呼吸器症状
2月第3週	2月16～20日	約19.2件/日	消化器症状および経過観察・再診対応
2月第4週	2月23～24、26～27日	約20.2件/日	消化器症状および経過観察・再診対応、発熱など
3月第1週	2月28日～3月6日	約12.0件/日	消化器症状および経過観察・再診対応、発熱など

現在、関連する症状は散発的に確認されており、特定の国籍グループに比較的集中する傾向が見られます。

学校では、各学生の体調に応じて、医療相談のサポート、休息の推奨、日常生活のケア管理を継続して提供しています。

※医療機関の見解

医療機関によると、報告された事例は食品や飲料水だけでなく、人から人への接触によっても感染が拡大する可能性のある感染性疾患の特徴を示しています。

食事の前やトイレを使用後には石けんを用いた手洗いを実施、こまめに手指をアルコール消毒するなど、基本的な個人衛生の実践が推奨されています。

また、外部からの持ち込みの可能性も考慮されており、本校ではあらゆる可能性を検討しながら予防措置を継続して実施しています。

[校外病院の受診および入院状況]

■ 2月第1週

受診：5名 / 入院：0名

■ 2月第2週

受診：5名 / 入院：3名

■ 2月第3週

受診：6名 / 入院：2名

■ 2月第4週

受診：5名 / 入院：0名

■ 3月第1週

受診：1名 / 入院：0名 ※個人の健康チェック目的の受診

週	期間	病院受診	入院	主な症状
2月第1週	2月 1~7日	5名	0名	消化器症状（腹痛、下痢、嘔吐など）
2月第2週	2月 8~14日	5名	3名	消化器症状（腹痛、下痢、嘔吐など）
2月第3週	2月 15~21日	6名	2名	消化器症状（腹痛、下痢、嘔吐など）
2月第4週	2月 22~3月 1日	5名	0名	消化器症状、発熱、熱中症（疑い）、呼吸器疾患
3月第1週	2月 28日~3月6日	1名	0名	※個人の健康チェック目的の受診

■ 継続中の衛生・防疫管理措置

学生の回復および日常生活の快適性を支援するため、以下の措置を完了、また実施中です。

- ・飲料水および環境の包括的検査（安全性に問題無し、基準値内であることを確認）
- ・ウォーターサーバーおよびボトルウォーター供給体制の全面点検と改善
- ・個別ボトルウォーターの無償提供
- ・共有エリアにアルコールスプレーを設置
- ・共用エリアの定期的な消毒の実施（次亜塩素酸ナトリウム溶液を使用）
- ・スタッフによる配膳方式の運用
- ・専用ケアルームの運営および病院同行サポート
- ・通常の食事や水分補給が難しい学生へのおかゆやスープ、スポーツドリンクの提供
- ・適切な手指衛生を促進するための石けんの配布
- ・希望者へのランチボックスおよびディナーボックスの提供（学校外のレストランで調理されたもの）
- ・ことびあクリニックのドクター往診時間の延長、週末のドクター往診対応

■ ご案内

本校は、状況が完全に収束するまで、医療機関と連携しながらモニタリングおよび予防措置を継続してまいります。

医療専門家からは、感染予防のために日常的な手指衛生の重要性が継続して強調されています。

学生の皆さまにおかれましても、石けんを用いたこまめな手洗い、アルコール消毒など、基本的な個人衛生の実践にご協力をお願いいたします。

また、体調が優れない方は、食物ならびに食器類を他の人と共有することを避けるようにしてください。

体調不良や気になる症状がある場合は、速やかにマネージャーへ連絡するか、クリニックを受診してください。

B'CEBU は、すべての学生の健康と安全を最優先とし、今後も責任をもって対応を続けてまいります。

-----  
上記の内容は、B'Cebu 在校生全員に正式にアナウンス済みです。

B'CEBU スタッフ一同